

**「寒冷圏大気-海洋間の生物地球化学的相互作用に関する研究集会」
(北海道大学低温科学研究所 令和6年度共同利用研究集会)**

日時: 令和6年8月1日(木)13:30~17:35, 8月2日(金)9:00~12:10

場所: 北海道大学 低温科学研究所 3F講堂(ハイブリッド開催)

プログラム

8月1日(木)

- | | |
|---------------|--|
| 13:30 - 13:35 | 趣旨説明 (栗栖、宮崎) |
| 13:35 - 14:00 | 鉄安定同位体比を用いた大気-海洋間の鉄の挙動に関する研究
栗栖 美菜子 (東大大気海洋研) |
| 14:00 - 14:25 | 波飛沫粒子に着目した研究プロジェクトの紹介
岩本 洋子 (広島大院統合生命科学) |
| 14:25 - 14:50 | 降雨が北太平洋移行域の基礎生産に与える影響
高橋 一生 (東大院農) |
| 14:50 - 15:15 | 個別石英粒子を用いた SEM-CL 分析法の開発と海水・氷床コアへの応用～あらゆる鉱物起源域の識別を目指して～
長島 佳菜 (JAMSTEC) |
| (休憩 10分) | |
| 15:25 - 15:50 | 南アフリカのナミビアでのエアロゾル鉄研究に関する日仏合同国際プロジェクト
伊藤 彰記 (JAMSTEC) |
| 15:50 - 16:15 | 海洋亜表層の生物地球化学パラメータ変動
安中 さやか (東北大院理) |
| 16:15 - 16:40 | 西部北太平洋におけるアジア起源物質の時空間分布と海洋生物地球化学への影響評価
野口 真希 (JAMSTEC) |
| 16:40 - 17:05 | Global Sulfur Cap 2020 による表層大気質の改善効果について(オンライン) |

山地 一代 (神戸大院海事科学研究科)

17:05 - 17:30

海洋社会科学者として働くこと～科学・人・政策のつながり～ (オンライン)

脇田 和美 (東海大 海洋学部)

8月2日(金)

9:00 - 9:25

大気エアロゾル中の水溶性熱性炭素 ～札幌における観測と外洋域への展開～

宮瀬 陸、山下 洋平 (北大院地球環境)

9:25 - 9:50

グリーンランド北西部における大気微小エアロゾル中の有機物の起源と季節変動

宮崎 雄三 (北大低温研)

9:50 - 10:15

シオラパルク沖フロストフラワーの昇華 SEMEDS 分析

飯塚 芳徳 (北大低温研)

10:15 - 10:40

グリーンランドアイスコア中の微量元素の濃度・化学種の経年変化

田中 祥太 (東大院理)

10:40 - 11:05

「波の花」の有機物・微生物動態について

濱崎 恒二 (東大大気海洋研)

(休憩 15分)

11:20 - 12:30

総合討論

* 講演時間には質疑応答を含みます(発表 20 分、質疑 5 分)。

* 終了後、必要に応じて各グループで打ち合わせ。